

別記様式（第4条関係）

会議録（令和8年度第1回大垣市官民連携プロジェクト審査会）

議 題	議題 1 会長及び副会長の選出について		
	議題 2 認定審査案件 (1) 大垣ミナモソフトボールクラブと連携したシティプロモーション事業		
日 時	令和8年8月27日（木）	場 所	大垣市役所4階 会議室4-4
	9:00～10:18	事務局	企画部地域創生戦略課
出席者 (欠席者)	竹内 治彦、竹中 哲夫、小島 裕則、 島田 貴士、後藤和重（計5名） （欠席者：なし）	傍聴者数	0人
		記録方式	全文・要約
＜全体要約＞ 令和8年度第1回目となる「大垣市官民連携プロジェクト審査会」が開催され、委員の互選により会長に竹内委員、副会長に竹中委員がそれぞれ就任した。 続いて、事務局から事業認定審査の仕組み（評価項目や6割以上の得点で合格とする基準など）について説明が行われた。 審議では、認定審査案件第1号である「ミナモソフトボールクラブと連携したシティプロモーション事業」（ミナモ会実行委員会からの申請、事業費300万円）について審査を実施した。 審議の結果、委員5名による採点合計は118点（満点150点中、約78.7％）となり、認定基準である6割を上回ったため、本事業の認定が適当であると決定された。 ＜発 言＞ <u>議題 1 会長及び副会長の選出について</u> 会 長：竹内委員（岐阜協立大学）を竹中委員（大垣商工会議所）が推薦 → 異議なし 副会長：竹中委員を竹内会長が指名 → 就任			

認定審査について（事務局説明）

- ・ 制度の目的と概要
- ・ 主な要件（補助対象、補助対象事業、補助金額）
- ・ 審査の流れ

議題2 認定審査案件No.1「大垣ミナモソフトボールクラブと連携したシティプロモーション事業」について（事務局説明）

- ・ 申請案件の概要（事業名称、申請団体、総事業費、事業期間）
- ・ 事業内容
- ・ 役割分担・連携体制

委員からの意見

【●●委員】

- ・ 今回のような補助金の仕組みは全国的にもあまり事例がないものであるため、委員の力添えで先駆的な事例となるような良い仕組みにしていきたい。
- ・ 会議の公開については、事業の機微な情報や審査のプロセスが含まれるため、次回以降は非公開にできないか検討してほしい。

【●●委員】

- ・ 提案事業の来年度以降の継続性について確認。
⇒（事務局回答）補助事業としての期間は今年度末までである。来年度以降も継続されるかどうかは、事業の実施主体と検討していくことになる。
- ・ ミナモ会実行委員会の役割については、実質的には大垣ミナモソフトボールクラブが実施するということか。
⇒（事務局回答）Tシャツやのぼりの作成、PRブースの設置等、企画についてはミナモ会実行委員会が、SNS発信やPRなどの実働は委託先である大垣ミナモソフトボールクラブが実施する。

【●●委員】

- ・ 「SNSによる発信」における閲覧数目標（合計5,000回）の実現可能性について確認。
⇒（事務局回答）全選手約30名が一人200回ほど閲覧されれば達成する。現在のフォロワー数や閲覧数に照らして妥当と思われる。
- ・ 大垣市ファン倶楽部の特典内容、市のメリットについて確認。
⇒（事務局回答）会員登録者には、公共施設の入場料の割引、施設訪問によるポイント獲得、エヴァンゲリオンのガチャガチャ体験、イベント情報の取得などの特典がある。
市としては、まず大垣市に訪れる人を増やし、関係人口創出につなげたい考え。
- ・ 最終試合の対戦相手、観客動員数について確認。
⇒（事務局回答）対戦相手はビックカメラ（群馬県の強豪チーム）。観客は800～900人と想定される。
- ・ 随時方式での審査は「早い者勝ち」になりかねず、内容が良い事業でも後から出てきた場合に予算超過により認定できないという恐れがある。募集期間を区切っての審査検討に同意する。
- ・ 事業実施後の報告や結果の審査は行われるのか。
⇒（事務局回答）委員に対して審査会または書面にて実施後の報告を行う予定。

【●●委員】

- ・ 1件ずつ審査するよりも、複数の案件を同時に比較した方が審査しやすい。
- ・ 他部署等も介して広く案件を掘り起こし、より多くの団体が応募できるような仕組みや周知に期待する。

<総括・今後の進め方>

- ・ 申請団体にも本会の意見を申し伝え、確実な事業実施に向けて市も連携していく。
- ・ 今後、収支予算書の記載等、申請者へ助言、事前確認を行う。
- ・ 今後の審査会の非公開について、事務局及び会長で協議する。

特記事項	特になし
------	------